

2024 年度事業報告

1. 概要

2024 年度事業計画に基づき、「望ましい産学連携教育の実践の観点から、教育効果の高いインターンシップを推進することで、次世代人材の育成に寄与し、もってわが国の経済社会の発展に資する」ことを目的として、事業活動を行った。

中核事業であるインターンシップ企業実習は、対面での実習に加え、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド・プログラムなどの工夫がなされ、学生たちは実社会における貴重な学びと成長の機会を得た。

大学院修士 1 年生のインターンシップ「M1 エンカレ」は、就業体験を通じて学生の研究とキャリアパスを結びつける機会となり、実習後、採用につながる事例も生まれている。

企業実習の前後には、実習生交流プログラムを開催、経済同友会インターンシップの意義・目的の理解、目標設定、実習の振り返りと学びや気づきの共有、実習生同士の交流を目的として開催し、以後の学生生活における意識改革や行動変容を後押しした。

新規事業の会員勉強会は、会員企業・大学等の担当者が人材育成やキャリア支援について学びを深めるとともに、会員同士のネットワーキングの機会となった。

インターンシップ実習生に継続的な学びと交流の機会を創出することを目的とした OBOG 交流プログラムは、卒業後もつながりを維持するためのシステムを導入し、実習生 OBOG による自主的な活動も始まっている。

実習成果報告会では、会員企業と大学から実習等の成果と課題について報告があり、会員相互の情報共有を図った。報告会終了後には懇談会を開催し、会員同士が積極的に交流を図る機会となった。

2. 経済同友会インターンシップ事業

学生と企業を適切にマッチングするための情報の収集及び提供

(1) 2024 年度経済同友会インターンシップの円滑な実施に必要な連携と調整

2024 年度経済同友会インターンシップの企業実習に係るマッチングについては、前年度に実施した意向調査の回答結果をベースに検討及び調整を行い、企業・大学等の担当者と連携しながら適切なマッチングを実現、その結果を 2024 年 3 月 26 日に会員へ通知した。

正会員企業 31 社中 28 社が実習生の受け入れを行い、151 名の学生が就業体験を通じて貴重な学びを得ることができた（表 1）。

学生を派遣する大学・国立高専機構では、事前・事後研修の実施等により、学生の学びと成長を後押しした。

実施方法は対面型 19 社、オンライン型 3 社、ハイブリッド型 6 社と、多様な形態で企業実習が展開された。

2024 年度より新規事業としてスタートした大学院修士 1 年生のインターンシップ「M1 エンカレ」には、企業 6 社、大学院 3 校、学生 11 名が参加した（表 2）。より実践的なプログラムへの参加は自らの研究とキャリアパスを結びつけて考える機会となり、複数の学生が実習先企業への就職に意欲を示す結果となった。

当協会の役職員が、24 社の企業実習を視察したほか、13 校の学内報告会に出席して、学生の気づきや決意など多くの成果を確認した。

■表 1 2024 年度経済同友会インターンシップ実施実績

企業名	国 立 大 学								公 立 大 学			私 立 大 学							高等専門 学校機構	受入 人数
	小樽商科	北海道	東北	埼玉	新潟	お茶の水 女子	九州	琉球	岩手県立	山口理科	高知工科	工学院	上智	昭和女子	聖心女子	東洋	龍谷	京都橘		
ADEKA		1					1	1			1	1							1	6
イオン				1			1										1	1		4
オイシックス・ラ・大地	1		1		1		1						1	1						6
キッコーマン				1										1		1				3
キッツ		1				1				1	1	1			1			1		7
久慈設計												1				1				2
コア	1				1	1							1	1						5
コニカミノルタ							1									1	1	1		4
小松製作所		1	1	1															1	4
サントリーホールディングス						1		1								1		1		4
シグマクシス		1			1	1			1				1		1					6
住友林業					1	1		1					1	1				1		6
双日	1	1	1					1	1	1				1		1	1	1		10
ソマール												1	1							2
第一生命保険					1	1		1	1				1		1	1	1	1		9
デュボン					1											1				2
TOPPAN	1												1		1	1				4
日本航空	1		1					1								2		1		6
日本信号				1															1	2
日本たばこ産業		1		1					1	1						1		1		6
日本レジストリサービス	1					1	1	2		1		1	1	1	1					10
野村證券	1				1	1							1		1		1			6
東日本旅客鉄道		1	1		1		1			1							1			6
みずほ証券		1	1	1				1	1	1		1		2			1			10
三井住友銀行	2						2							2		2		2		10
森トラスト																			2	2
ユー・エム・アイ		1			1				1	1							1			5
リコー						1	1	1										1		4
合計	9	9	6	6	9	9	9	10	6	7	2	6	9	10	6	13	8	12	5	151

■表 2 2024 年度 M1 エンカレ実施実績

企業／大学	北海道大学	琉球大学	東洋大学	合計
ADEKA	1	1		2
イオン		1		1
キッツ			1	1
日本航空	2	2	1	5
日本信号			1	1
東日本旅客鉄道	1			1
合計	4	4	3	11

（２）実習の成果と課題を会員等が共有し交流する「実習成果報告会」の開催

経済同友会インターンシップの成果と課題を会員及び当協会が共有し、次年度以降の事業改善につなげることを目的として、2024 年度経済同友会インターンシップ実習成果報告会を開催した。報告会終了後には立食形式の会員懇談会を開催し、会員同士が積極的に交流する機会となった。

日 時	2024 年 11 月 26 日(火) 16：00～17：40
場 所	ホテルグランドアーク半蔵門 3 階 華の間
参加者	正会員企業 41 名、正会員大学等 32 名、準会員 2 名、賛助会員 1 名 当会役員 8 名、その他 関係者 7 名 合計 91 名
プログラム	1. 開会挨拶 代表理事 横尾 敬介 2. 2024 年度経済同友会インターンシップの成果報告 専務理事・事務局長 穴戸 尚子 3. 企業事例報告 ・株式会社キッツ／ 人財部部長 鈴木規昭氏 人財開発グループ採用ライン長 坪野 敬太氏 ・株式会社シグマックス／ ディレクター 鈴木 悠也氏 コンサルタント 瀬崎 晃梨氏 4. 大学等事例報告 ・国立大学法人琉球大学 グローバル教育支援機構 キャリア教育支援部門長 瀬口 浩一氏 キャリア教育センター専任教員 武田 和久氏 キャリア教育支援部門特命一般職員 屋嘉部 一美様 5. 講評 ・独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部長 山本 由香氏

所属・役職は、開催日当時のもの

（３）2025 年度インターンシップに係る学生・大学等と企業との適切なマッチングの実施

① 会員への意向調査とマッチング

2025 年度インターンシップ事業のマッチングに関しては、2024 年 12 月に会員に対する意向調査を行い、寄せられた回答結果を踏まえて適正なマッチング調整に努めた。このマッチング結果については、2025 年 3 月に会員へ通知した。

② マッチング審査会の開催

2024 年 12 月 3 日に第 1 回の審査会を開催し、基本方針とマッチング方法について審査を行い承認した。また、2 月 27 日の第 2 回では具体的なマッチング結果について審査を行い、これを承認して、3 月 11 日の理事会に上程した。

3. 会員、経済同友会関係者、学生及びインターンシップ OBOG による交流会の運営

(1) 実習生交流プログラムの開催

① 実習生プレミーティング

経済同友会インターンシップの意義・目的を理解し、同じ企業に派遣される実習生同士が事前に交流の機会をもつとともに、目標を共有することを目的として、実習生プレミーティングをオンラインで開催した。全実習生 162 名（うち M1 エンカレ 11 名）の約 83%にあたる 134 名が参加し、学生同士が積極的に意見交換を行った。実施後アンケートでは「実習参加への不安が解消できた」「他の学生から様々な刺激を受けた」など、ポジティブなコメントが多く寄せられた。

② 実習振り返りセッション

企業実習を振り返り、学びや気づきを省察し、他の学生と共有することで個々の学びを一層深め、今後のキャリア形成につなげる機会として、実習振り返りセッションをオンラインで開催した。

キャリア教育の分野で豊富な経験を持つコンサルタントが講師を担当し、学生は自身の経験・チャレンジを通じた強みの棚卸しを行った。実習生 OBOG がファシリテーターとして参加し、グループディスカッションの進行をサポートした。

③ 企業経営者によるキャリア講演会

10 月には企業経営者によるキャリア講演会を開催し、経済同友会副代表幹事で、オイシックス・ラ・大地株式会社代表取締役社長 高島宏平氏を講師として迎えた。高島社長には「自分らしいキャリアをどうデザインするか」をテーマにご講演いただき、学生は自らの可能性を信じて未来を切り拓くことの大切さを感じるとともに、以後の学生生活での意識改革や行動変容につなげる機会とした。

	実習生プレミーティング
開催日	8月3日(土) 16:00～17:30
参加者	2024年度インターンシップ実習生 134名
内 容	・横尾 敬介代表理事挨拶 ・経済同友会インターンシップの意義・目的の確認 ・2024年度経済同友会インターンシップの概要 ・交流会（参加動機、目標の共有）

	実習振り返りセッション
開催日	9月25日(水)／26日(木) 18:30～20:30 ※いずれかの日程に参加
参加者	・インターンシップ実習生 94名 ・インターンシップ実習生 OBOG 22名（ファシリテーター）
講 師	就職コンサルタント 櫻井 照士氏／椎名 勇太氏
内 容	テーマ「実習の振り返り／学びと気づきの共有」

	企業経営者によるキャリア講演会
開催日	10月28日(月) 18:30～20:00
参加者	インターンシップ実習生・OBOG 54名
講 師	オイシックス・ラ・大地株式会社代表取締役社長 高島 宏平氏
内 容	テーマ「自分らしいキャリアをどうデザインするか ～自らの可能性を信じて未来を切り拓く～」

所属・役職は、開催日当時のもの

（２）OBOG 交流会

経済同友会インターンシップに参加した学生が継続的に学びを深め、交流する機会を創出するため、OBOG 交流会を開催した。

経済同友会・学校と経営者の交流活動推進委員会副委員長で、株式会社 ETS ホールディングス代表取締役社長の加藤慎章氏を講師に迎え、「人との繋がりがキャリアを拓く～人的ネットワークがもたらすもの～」をテーマにご講演いただいた。

	OBOG 交流会
開催日	11月19日(火) 18:00～20:00
参加者	インターンシップ実習生・OBOG 42名
講 師	経済同友会 学校と経営者の交流活動推進委員会 副委員長 ETS ホールディングス代表取締役会長 加藤 慎章氏
内 容	テーマ「人との繋がりがキャリアを拓く ～人的ネットワークがもたらすもの～」

所属・役職は、開催日当時のもの

（３） 会員勉強会

経済同友会インターンシップ推進協会会員が人材育成やキャリア支援について学びを深めるとともに、会員相互の交流の機会とするため、2024 年度新規事業として会員勉強会を開催した。

講師として上智大学学長 曄道佳明氏をお迎えし、「人の成長と学びの場をどのように提供するか」をテーマにご講演いただいた。ご講演後の質疑応答も活発に行われ、参加者からは、「学ぶことのモチベーションについて考える機会となり、企業経営者として大いに刺激を受けた」「成長には画一的な形はなく、個性化が重要であるという新たな視点を得た」といったコメントが寄せられた。

	会員勉強会
開催日	10 月 9 日(水) 12：00～13：30
参加者	正会員担当者 協会役員 事務局 49 名
講 師	上智大学 学長 曄道 佳明氏
内 容	テーマ「人の成長と学びの場をどのように提供するか」

所属・役職は、開催日当時のもの

4． インターンシップの推進、調整、実態把握及び連携協力に関する活動

経済同友会インターンシップ推進協会として、文部科学省主催のキャリア形成支援活動表彰選考委員会や、インターンシップフォーラム、産学協働人材育成コンソーシアムの活動に参画するなど、関連他機関との連携と情報収集につとめ、教育効果の高い経済同友会インターンシップの理解促進と普及に努めた。

5． その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

（１） 新規入会の促進

2024 年度期首の会員数は、正会員 50 法人（企業 31、大学等 19）、準会員 7 法人（企業 6、大学等 1）、賛助会員 1 法人であった。

事業規模と学生の受け入れ人数を維持すべく、当協会と価値観を共有する企業・大学に対して入会勧誘を行った結果、正会員として新たに 3 法人（企業 2、大学 1）を迎えた。

一方で、正会員の退会が 4 法人（企業 3、大学 1）、正会員から準会員への変更が 1 法人（企業）であった。

その結果、2024 年度期末の会員数は、正会員 48 法人（企業 29、大学等 19）、準会員 8 法人（企業 7、大学等 1）、賛助会員 1 法人となった。

(2) 広報事業

① 「事業案内パンフレット」の制作

協会の活動を紹介するため、毎年制作する事業案内パンフレットの 2024 年度版は、経済同友会インターンシップ推進協会概要、インターンシップ実施の流れに加えて、企業実習事例を多く紹介し、新規会員開拓に活用した。

② 年間活動報告「2024 年度イヤーブック」の制作

2024 年度新規事業として、会員向けの年間活動報告を目的とした「2024 年度イヤーブック」を作成した。企業実習の写真が中心で、会員の記憶に残る活動報告書となった。

(3) 法人の管理運営に関する事業

① 理事会の開催

回	開催日	出席者数	決議事項	可否
1	2024 年 6 月 5 日	理事 7 名 監事 2 名	・ 2023 年度事業報告について ・ 2023 年度決算について ・ 理事の選任について ・ 2024 年度定時会員総会招集及び議題について	可決 可決 可決 可決
2	2024 年 11 月 15 日	書面決議	・ 新規入会の諾否について	可決
3	2025 年 3 月 11 日	理事 7 名 監事 2 名	・ 2025 年度事業計画について ・ 2025 年度収支予算について ・ 2024 年度経済同友会インターンシップのマッチング案について ・ 役員賠償責任保険の契約更新について	可決 可決 可決 可決

② 会員総会の開催

	開催日	出席者数	決議事項	可否
	2024 年 6 月 28 日	46 名	・ 2023 年度決算承認の件 ・ 理事 2 名の選任の件	可決 可決

以 上

事業報告附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。

令和 7 年 4 月
一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会

以 上